

第三十六号の八様式（第六条関係）（A4）

定期検査報告書  
（防火設備）  
（第一面）

所有者または管理者が異なる場合は管理者が報告者となる

建築基準法第12条第3項の規定により、定期検査の結果を報告いたします。この報告書に記載の事項は事実と相違ありません。

特定行政庁 **大津市長** 様

令和〇〇年〇〇月〇〇日

報告者氏名

〇〇 〇〇

検査者氏名

株式会社〇〇建築士事務所 〇〇 〇〇

【1. 所有者】

- 【イ. 氏名のフリガナ】 **カバシカイヤ 0000 タヒョトリマリヤ 0000 0000**  
【ロ. 氏名】 **株式会社〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇**  
【ハ. 郵便番号】 **000-0000**  
【ニ. 住所】 **〇〇県〇〇市〇〇町0番00号**  
【ホ. 電話番号】 **000-000-0000**

【2. 管理者】

- 【イ. 氏名のフリガナ】 **0000 0000**  
【ロ. 氏名】 **〇〇 〇〇**  
【ハ. 郵便番号】 **000-0000**  
【ニ. 住所】 **〇〇県〇〇市〇〇町0番00号**  
【ホ. 電話番号】 **000-000-0000**

【3. 報告対象建築物】

- 【イ. 所在地】 **大津市〇〇一丁目〇〇番〇〇**  
【ロ. 名称のフリガナ】 **000000000000**  
【ハ. 名称】 **〇〇〇〇〇〇**  
【ニ. 用途】 **物品販売店舗**

地番で記入  
住居表示の場合は末尾に  
（住居表示）と記入

指摘が全て既存不適格の場合のみチェック

【4. 検査による指摘の概要】

- 要是正の指摘あり（□既存不適格） □指摘なし  
**防火扉：扉の前に物品が置かれている**  
**防火シャッター：危害防止装置設置なし（既存不適格）**

主な指摘を記入（概要書は全ての指摘を記入、書ききれない場合は別紙を添付）

※受付欄	※特記欄	※整理番号欄
年 月 日		
第 号		
係員氏名		

防火設備の状況等

【1. 建築物の概要】

【イ. 階数】 地上 4 階 地下 階  
【ロ. 建築面積】 2,000 m<sup>2</sup>  
【ハ. 延べ面積】 7,500 m<sup>2</sup>

【2. 確認済証交付年月日等】

【イ. 確認済証交付年月日】 平成〇〇年〇〇月〇〇日 第 確-0000 号  
【ロ. 確認済証交付者】  建築主事  指定確認検査機関 ( 〇〇〇〇 )  
【ハ. 検査済証交付年月日】 平成〇〇年〇〇月〇〇日 第 済-0000 号  
【ニ. 検査済証交付者】  建築主事  指定確認検査機関 ( 〇〇〇〇 )

直近のもの

【3. 検査日等】

【イ. 今回の検査】 令和〇〇年〇〇月〇〇日実施  
【ロ. 前回の検査】  実施 ( 令和〇〇年〇〇月〇〇日報告 )  未実施  
【ハ. 前回の検査に関する書類の写し】  有  無

提出日の3箇月以内で  
検査の終了日

前回提出日(受付日)を記入

【4. 防火設備の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】 ( 一級 ) 建築士 ( 大臣 ) 登録第 000000 号  
防火設備検査員 第 号  
【ロ. 氏名のフリガナ】 0000 0000  
【ハ. 氏名】 〇〇 〇〇  
【ニ. 勤務先】 株式会社〇〇建築士事務所  
( 一級 ) 建築士事務所 ( 〇〇県 ) 知事登録第 〇-〇000 号  
【ホ. 郵便番号】 000-0000  
【ヘ. 所在地】 〇〇県〇〇市〇〇町 〇 番 〇〇 号  
【ト. 電話番号】 000-000-0000 FAX 000-000-0000

FAX 番号も併せて記入

(その他の検査者)

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
防火設備検査員 第 000000 号  
【ロ. 氏名のフリガナ】 0000 0000  
【ハ. 氏名】 〇〇 〇〇  
【ニ. 勤務先】 株式会社〇〇設備  
( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号  
【ホ. 郵便番号】 000-0000  
【ヘ. 所在地】 〇〇県〇〇市〇〇町 〇 番 〇〇 号  
【ト. 電話番号】 000-000-0000



(第三面)

防火設備に係る不具合の状況

---

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善（予定）年月	改善措置の概要等
	調査結果表の要是正の指摘は不具合には含まない			

検査結果表  
(防火扉)

当該検査に関与した検査者	氏名	検査者番号	
	代表となる検査者	株式会社〇〇建築士事務所 ○〇 ○〇	1
	その他の検査者	株式会社〇〇設備 ○〇 ○〇	2

番号	検査項目	検査事項	検査結果			担当検査者番号	
			指摘なし	要是正	既存不適格		
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況		○		1	
(2)		扉の取付けの状況	○			1	
(3)		扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○			1	
(4)		危害防止装置	作動の状況 <b>防火扉の閉鎖時間、運動エネルギー等確認</b>	○			1
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○		1・2	
(6)		感知の状況	○			1・2	
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況				
(8)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○			1・2
(9)			結線接続の状況	○			1・2
(10)			接地の状況	○			1・2
(11)		連動機構用予備電源	予備電源への切り替えの状況	○			1・2
(12)	劣化及び損傷の状況		○			1・2	
(13)	容量の状況		○			1・2	
(14)	設置の状況		○			1・2	
(15)	自動閉鎖装置	再ロック防止機構の作動の状況	○			1・2	
(16)	総合的な作動の状況	防火扉の閉鎖の状況	○			1・2	
(17)		防火区画の形成の状況 <b>堅穴区画に限る。</b>	○			1・2	

**上記以外の検査項目**

(16)・・・(17)で点検するものを除き、全て作動状況の点検を行う。  
 (17)・・・1つ以上の堅穴区画について点検を行う。複数の堅穴区画を有する場合は、長期的には全ての堅穴区画が点検対象となるように、前回の点検対象と異なる堅穴区画を選定する。

特記事項				
番号	検査項目	指摘の具体的内容等	改善の具体的内容等	改善(予定)年月
(1)	設置場所の周囲状況	物品により防火扉が閉鎖しない	物品の撤去	(00年0月)
	調査項目番号と連動		既存不適格以外は、改善予定年月を記入	

(注意)

- この書類は、建築物ごとに作成してください。
- 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください
- 「検査結果」欄は、別表(イ)欄に掲げる各検査項目ごとに記入してください。
- 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表(イ)欄に掲げる検査項目について同表(ロ)欄に掲げる検査事項のいずれかが同表(ニ)欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を( )書きで記入してください。
- 各階平面図を別添1の様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘(特記すべき事項を含む)のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- 要是正とされた検査項目(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表  
(防火シャッター)

当該検査に関与した検査者	代表となる検査者	氏名 株式会社〇〇建築士事務所 〇〇 〇〇	検査者番号 1
	その他の検査者	株式会社〇〇設備 〇〇 〇〇	2

番号	検査項目	検査事項	検査結果			担当検査者番号	
			指摘なし	要是正	既存不適格		
(1)	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○			1	
(2)		軸受け部のブラケット、巻取りシャフト及び開閉機の取付けの状況※	○			1	
(3)		スプロケットの設置の状況※	○			1	
(4)		駆動装置 <b>(2)～(4)の点検は日常的に開閉するものに限る。</b>	軸受け部のブラケット、ベアリング及びスプロケット又はロープ車の劣化及び損傷の状況※	○			1
(5)	防火シャッター	ローラチェーン又はワイヤーロープの劣化及び損傷の状況	○			1	
(6)		カーテン部	スラット及び座板の劣化等の状況	○			1
(7)		吊り元の劣化及び損傷並びに固定の状況	○			1	
(8)		ケース	劣化及び損傷の状況	○			1
(9)		まぐさ及びガイドレール	劣化及び損傷の状況	○			1
(10)		危害防止装置	危害防止用運動中継器の配線の状況		○	○	1
(11)			危害防止装置用予備電源の劣化及び損傷の状況		○	○	1
(12)			危害防止装置用予備電源の容量の状況		○	○	1
(13)			座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況		○	○	1
(14)	作動の状況			○	○	1	
(15)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○		1・2	
(16)		感知の状況	○			1・2	
(17)		温度ヒューズ装置	設置の状況				
(18)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○			1・2
(19)			結線接続の状況	○			1・2
(20)			接地の状況	○			1・2
(21)			予備電源への切り替えの状況	○			1・2
(22)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○			1・2
(23)			容量の状況	○			1・2
(24)		自動閉鎖装置	設置の状況	○			1・2
(25)	手動閉鎖装置	設置の状況	○			1・2	
(26)	総合的な作動の状況	防火シャッターの閉鎖の状況	○			1・2	
(27)		防火区画の形成の状況 <b>堅穴区画に限る。</b>	○			1・2	

**上記以外の検査項目**

(26)・・・(27)で点検するものを除き、全て作動状況の点検を行う。  
 (27)・・・1つ以上の堅穴区画について点検を行う。複数の堅穴区画を有する場合は、長期的には全ての堅穴区画が点検対象となるように、前回の点検対象と異なる堅穴区画を選定する。

特記事項				
番号	検査項目	指摘の具体的内容等	改善の具体的内容等	改善(予定)年月
(10)～(14)	危害防止装置	危害防止装置設置なし (既存不適格)	危害防止装置設置	大規模改修時
	調査項目番号と連動	既存不適格はその旨を記入	既存不適格以外は、改善予定年月を記入	

(注意)

- この書類は、建築物ごとに作成してください。
- 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください
- 「検査結果」欄は、別表(イ)欄に掲げる各検査項目ごとに記入してください。
- 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、**注意書き2ページ目以降は添付省略可**表(ろ)欄に掲げる検査事項のいずれかが同表(ニ)欄に掲げる判定基準に適合しない場合に○印を記入してください。
- 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。

検査結果表  
(耐火クロススクリーン)

当該検査に関与した検査者	代表となる検査者	氏名 株式会社〇〇建築士事務所 〇〇 〇〇	検査者番号 1
	その他の検査者	株式会社〇〇設備 〇〇 〇〇	2

番号	検査項目	検査事項	検査結果		担当検査者番号	
			指摘なし	要是正 既 存 不 適 格		
(1)	耐火クロススクリーン	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○		1
(2)		駆動装置	ローラチェーンの劣化及び損傷の状況	○		1
(3)		カーテン部	耐火クロス及び座板の劣化及び損傷の状況	○		1
(4)			吊り元の劣化及び損傷並びに固定の状況	○		1
(5)		ケース	劣化及び損傷の状況	○		1
(6)		まぐさ及びガイドレール	劣化及び損傷の状況	○		1
(7)		危害防止装置	危害防止用連動中継器の配線の状況	○		1
(8)			危害防止装置用予備電源の劣化及び損傷の状況	○		1
(9)			危害防止装置用予備電源の容量の状況	○		1
(10)			座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況	○		1
(11)			作動の状況	○		1
(12)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○		1・2
(13)			感知の状況	○		1・2
(14)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○		1・2
(15)			結線接続の状況	○		1・2
(16)			接地の状況	○		1・2
(17)			予備電源への切り替えの状況	○		1・2
(18)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○		1・2
(19)			容量の状況	○		1・2
(20)		自動閉鎖装置	設置の状況	○		1・2
(21)		手動閉鎖装置	設置の状況	○		1・2
(22)	総合的な作動の状況		耐火クロススクリーンの閉鎖の状況	○		1・2
(23)			防火区画の形成の状況	○	堅穴区画に限る。	1・2

上記以外の検査項目  
 (22)・・・(23)で点検するものを除き、全て作動状況の点検を行う。  
 (23)・・・1つ以上の堅穴区画について点検を行う。複数の堅穴区画を有する場合は、長期的には全ての堅穴区画が点検対象となるように、前回の点検対象と異なる堅穴区画を選定する。

特記事項				
番号	検査項目	指摘の具体的内容等	改善の具体的内容等	改善(予定)年月

(注意)

- この書類は、建築物ごとに作成してください。
- 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- 「検査結果」欄は、別表(い)欄に掲げる各検査項目ごとに記入してください。
- 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表(い)欄に掲げる検査項目について同表(ろ)欄に掲げる検査事項のいずれかが同表(に)欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載された検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除してください。**注意書き2ページ目以降は添付省略可**